

令和7年1月31日

報道機関 各位

「いわき・ら・ら・ミュウ」の道の駅登録について

このことについて、本日付けをもって当館が道の駅として登録されましたので、お知らせします。

1. 事業主体 (株)いわき市観光物産センターが単独型で既存施設「いわき・ら・ら・ミュウ」を一部改修し、道の駅として申請・登録。

名 称 道の駅「いわき・ら・ら・ミュウ」

① 単独型とは

「地方公共団体が1/3以上を出資する法人」という設置者条件に合致する弊社が申請し、弊社単独で道の駅の要件を満たすための施設整備を行うもの

② 新たな整備予定について

ア 駐車場 24時間利用可能とし、妊婦等向けに屋根付き駐車場を新設する

イ トイレ 一部のトイレ区画を24時間開放し、併せて、チャイルドチェアの配置など子育て支援機能の充実やオストメイトの導入を行う

ウ 子育て応援・道路情報の発信設備

24時間使える授乳設備やおむつ交換台を備えた部屋を新設。併せて、道路情報等の発信機能も導入

③ 道の駅としてのオープン予定 令和7年9月

※ 施設営業は継続しながら、オープンに備える

④ 運営 引き続き弊社が行なう

2. 申請の目的

平成23年の東日本大震災や令和元年末から2年以上の期間にわたる新型コロナウイルスのまん延といった苦境の中で、弊社は「ハグ/いわき いわきをぎゅ〜っと」という新概念を令和3年度に定め、第三セクターとしての公共的な役割を見つめ直し、地域志向の強化に努めてきた。来年度は、ふくしまデスティネーションキャンペーンの開始や小名浜道路の開通が予定され、当センターは、現在以上にその役割を果たす時期に差し掛かっている。このため、次の目的・目標を達成しながら、地域貢献度を高めるため、道の駅登録申請を行った。

① 道路利用者に24時間の駐車場や休憩施設機能を提供することにより、市域ホスピタリティの向上を図る

② 知名度の向上や「道の駅」の固定ファンによる旅行の目的地化などにより、交流人口

の拡大を図るとともに、アクアマリンパーク全体の観光価値の向上を図る

- ③ 「常磐もの」の販売力強化につなげ、課題となっている東日本大震災やコロナ禍からの漁業の復興に貢献するとともに農産物販売にも力を入れ、第一次産業全体の底上げを図る
- ④ 市域を代表する情報・交流の拠点・ハブとして、地域からのさらなる期待や信頼に応えていく

3. その他

① (株)いわき市観光物産センターについて

ア 小名浜港再開発の先導を担うとともに、地場産業や地域経済の振興を図るため、平成6年に設立された、第三セクター方式の株式会社。福島県、いわき市、地元民間団体・企業等が出資（地方公共団体の出資割合 42.5%、内訳：市 32.6% 県 9.9%）。

イ 設立準備期間を経て、平成9年7月25日にオープン。海や港の親水性を利用した「食べる・遊ぶ・交流する」をテーマに、地元の水揚げされた鮮魚や地元物産の販売、海鮮を中心とした食事の提供を通じて、海の恵みを体験・満喫できる施設。令和5年度入込客数 137 万人。

② 周辺環境

ア 平成12年、小名浜港2号ふ頭に福島県の水族館「アクアマリンふくしま」がオープン

イ 平成17年には当センターと「アクアマリンふくしま」が位置するアクアマリンパークが「いわき小名浜みなとオアシス」に指定される

【問い合わせ先】

(株) いわき市観光物産センター 0246 (92) 3701 担当者 総務課 仙坂